

第2回公開研究会  
「学習者の言語環境と日本語の習得過程に関する研究」

『日本語教育研究における  
学習者コーパスの役割』

2010年11月20日(土) 10:30~17:00

国立国語研究所：講堂

【趣旨】 日本語学習者のデータ収集からコーパスの構築・活用までを視野に入れ、具体例を示しながら、学習者コーパスを用いた研究で得られた知見を紹介し、以下の問題についてともに考えます。

- ・国内および海外における研究の状況
- ・データ収集において留意すべきこと
- ・コーパスのデータからわかること、わからないこと

【プログラム】

10:30~10:35 挨拶 (迫田久美子)

10:30~11:30

学習者コーパスの構築における課題 — タグ付き KY コーパスの開発経験から —  
李 在鎬 (国際交流基金日本語試験センター)

11:35~12:30 昼食

12:30~13:30

学習者コーパスの使用方法の一例 — KY コーパスからわかったこと —  
山内 博之 (実践女子大学)

13:30~13:45 休憩

13:45~14:45

学習者コーパスを使った言語習得研究 — 発話データから何が見えてくるか —  
大関 浩美 (麗澤大学)

14:45~15:00 休憩

15:00~16:30

【特別講演】 言語習得・処理・障害における普遍性はどこから来るのか  
— コーパス研究からわかること、わからないこと — 白井 恭弘 (ピッツバーグ大学)

16:30~17:00 まとめと総括